

### 取付け手順

#### ■ねじ一覧表

※図中の①～④はねじの種類を表す。

皿小ねじM5×14
トラス小ねじφ4×6
皿木ねじφ3.1×25

#### ■取付け条件

##### ■制作制限

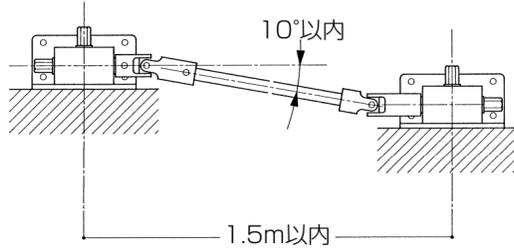
窓の高さ制限	連窓制限
H=490mm～983mm	4連窓迄
H=984mm～1406mm	3連窓迄
H=1407mm～2199mm (ハンドル2個仕様)	2連窓迄

※上記表以外の窓には取り付けられません。

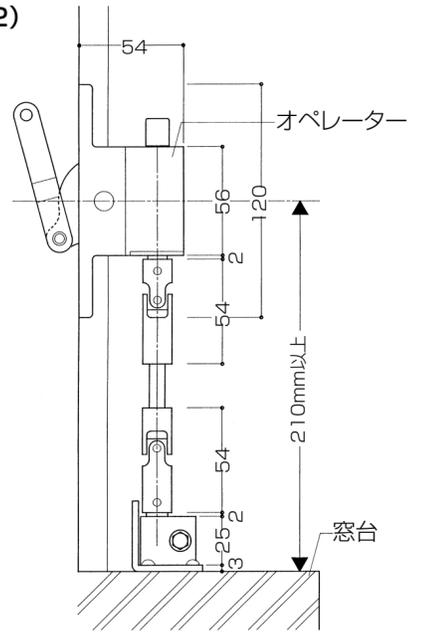
取り付ける前に必ず下記の項目をお読みください。

- ①各部品の間隔は1.5m以内です。(図1)
- ②各部品の中心ずれは10°以内です。(図1)
- ③オペレーター取付け位置中心から窓台までの寸法は、210mm以上にしてください。(図2)

(図1)



(図2)



#### 1 オペレーターの取付け

- 本図は右オペレーター仕様で説明してあります。
  - オペレーターは左右兼用です。
  - 左オペレーター仕様の場合は、オペレーターの上下を反転させて取り付けます。
- ※ユニバーサルジョイントは長い方を下にして取り付けてください。

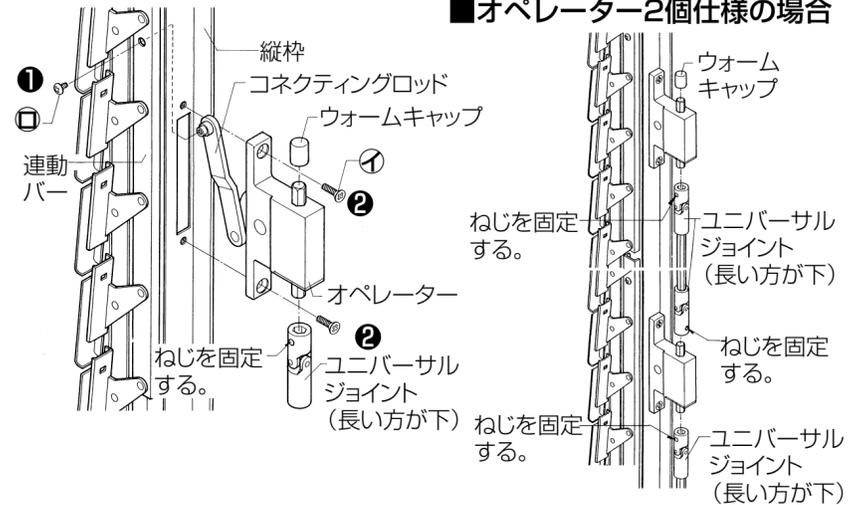
##### ■オペレーター1個仕様の場合

- ①コネクティングロッド先端を縦枠の加工部分に差し込み、連動バーにねじ止めします。
- ②オペレーターを縦枠にねじ止めします。
- ③ウォームキャップを圧入します。
- ④ユニバーサルジョイントを図のように差し込み、六角レンチでねじを固定します。

※六角レンチはハンドルの部品セットに入っています。

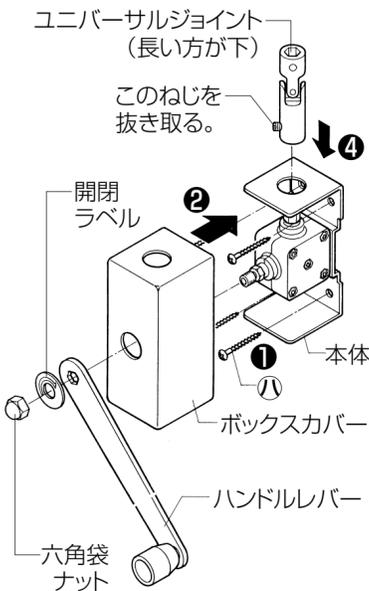
※左オペレーター仕様の場合も、ウォームキャップは上側、ユニバーサルジョイントは下側に取り付けてください。

##### ■オペレーター2個仕様の場合



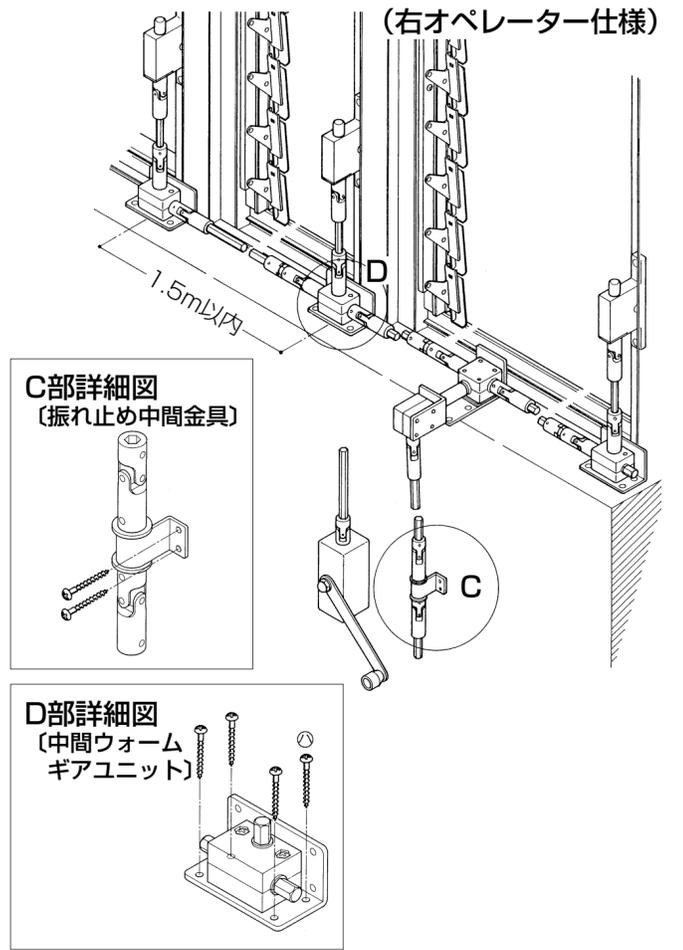
#### 2 ハンドル部の取付け

- ①ハンドル部を図のように分解し、ねじ4本で本体を固定します。
- ②ボックスカバーを本体の溝へ入り込むまで押し込みます。
- ③ハンドルレバー、開閉ラベル、六角袋ナットを図のように組み込みます。
- ④ユニバーサルジョイントの長い方に付いているねじを抜き取り、図のようにユニバーサルジョイントを落とし込みます。



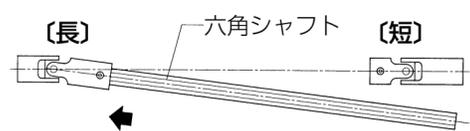
#### 3 各部品の配置

- ①下記施工例を参考に各部品間の長さを1.5m以内に配置します。
- ②各部品はねじで固定します。

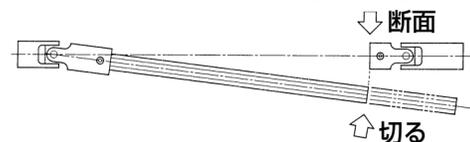


#### 4 六角シャフトの長さ決め

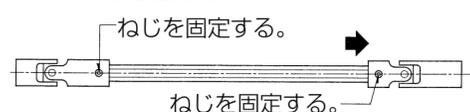
- ①ユニバーサルジョイントの長い方へ六角シャフトが突き当たるまで差し込みます。



- ②ユニバーサルジョイントの短い方の端面に合わせて六角シャフトを切断します。



- ③切断側をユニバーサルジョイントの短い方へ突き当たるまで差し込み、六角レンチでねじを固定します。



※六角レンチはハンドルの部品セットに入っています。

#### 5 連窓用開閉位置の調整

- ①オペレーターのユニバーサルジョイントを手で回して、1窓目、2窓目を閉め切り状態にします。
  - ②手順④の要領で六角シャフトの長さを決めます。
  - ③中間ウォームギアユニット側の六角シャフトを端部転向ギアユニット側の六角穴付きスリーブの六角穴に合わせます。
- ※③で六角シャフトが六角穴付きスリーブへ入らないことがあります。これは各窓の締め切り位置がそれぞれ違うからです。その時は六角ナットをゆるめ、六角穴付きスリーブを回し、両方の六角穴を合わせてください。

- ④六角シャフトを六角穴付きスリーブに差し込み、ねじ止めします。
- ⑤六角スパナで六角穴付きスリーブと六角ナットを締め付けて完了です。

※六角スパナはハンドルの部品セットに入っています。

- ⑥上記手順で中間ウォームギアユニット側のスリーブも調整します。
- ⑦最後に各窓の開閉角度が同一に動くか確認してください。

※締め付けが確実でないと1窓目、2窓目がうまく連動せず開閉が悪くなります。

